

大切な自然

甲賀市内の大切な自然が存在する地域について紹介します

●第10回●

大戸川上流
—信楽町多羅尾・神山

大戸川は信楽町南部の三重県・京都府と接する山地を源として、信楽町を流れ、大津市田上で瀬田川に合流し、琵琶湖に流れ込んでいます。上流に位置する多羅尾地区は古くから交通の要地で、多羅尾を経て三重県へ抜ける御斎峠は、徳川家康が密かに越えた峠として知られています。

笹ヶ岳、高旗山のピークをもつ山地は、谷に沿って人家や田畑がありますが、まだまだ調査されていない自然があります。深い杉林の杉の大木の枝に、シダ植物やつる性の植物とともに、絶滅が心配されるラン、セッコクが確認されています。セッコクは滋賀県では条例で指定希少野生動植物種に指定され、採集が禁止されています。林の中には多くの種類のシダ植物をはじめ、フタバアオイ、エンレイソウなど、ほかではみられなくなってしまった植物が数多く生育しています。

笹ヶ岳山麓では、初夏には滋賀県下でも稀少なイナモリソウが咲き、初秋には、テイショウソウの花がみられます。

山地を流れ出る水は谷をきざみ、滝となって流れ落ちていきます。その1つ鶏鳴の滝は笹ヶ岳の東方にある高さ6m、幅5mの滝ですが、滝の周囲は飛び散る水で夏でも涼しい空気に包まれています。コケ植物やコウヤコケシノブなど



▲イナモリソウ

のシダ植物、湿地を好む植物が岩に張り付くように生えていて、美しい緑の景観



■セッコク

をみせてくれます。夏のひと時、滝のしぶきを浴びながら、岩壁に咲くイワタバコが暑さを忘れさせてくれることでしょう。

8月の
休園日

4日(月)、11日(月)、
18日(月)、25日(月)

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は信楽町文化協会からお寄せいただきました。

信楽冠句連盟

皐月集より

- ・水澄みて 捨てた故郷の土と生く
- ・子は見てる 澄んだ瞳が美しい
- ・子は見てる 慈悲の心は嘘はない
- ・恙がなく 静かに夕餉の箸を置く
- ・恙がなく 今日祝宴の笑顔盛る
- 志がらき俳壇
- ・草笛や下校児見つ御代で橋
- ・触れずともなまあたたかし蛞蝓
- ・子燕や配達員の笑顔よし
- ・葉桜やゴルフの老等憩いけり
- ・城山は謎を残して風薫る

信楽川柳教室

- ・ふりそそぐ後期高齢傘がない
- ・下校時傘も踊って付いてゆく
- ・透明のビニール傘にいてひとり
- ・わらべ唄八つ手の傘が母を追う
- ・待ちわびたお日さまごめん日よけ傘
- 地中海信楽グループ
- ・大戸川に舟浮かべてのお桜見は情緒もありて満喫できた
- ・千年の聖の宮居はたそがれてあそぶ松風礎石は知るや
- ・遠近の山の静もり幾重なる墨絵の如き今日の北山

小 狸
深 堂
荷花郷
真 路
月 路

城 宏衛

小 谷 栄子
片 木 幸子
高 橋 克巳
杉 本 志か代

繁 雄
美 栄子
栄 子
か つ 子
敬

高 井 仁波知
谷 井 かつ子
小 山 平八郎

次回(10月1日号)は、甲南町文化協会の予定です。